

「ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド」

ご参考資料 | 2024年4月26日

Aコース（米ドル売り円買い）／Bコース（為替ヘッジなし）



## 設定来の振り返りと当ファンドの戦略

### ポイント

- ① 設定来の基準価額の動きと投資環境
- ② 当戦略のパフォーマンス
- ③ 当戦略の運用哲学

## ① 設定来の基準価額の動きと投資環境

### 世界株式は堅調に推移

ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド（以下、当ファンド）が設定された2023年8月21日から2024年3月末において、世界株式市場は上昇しました。2023年10月半ばにかけては、FOMC（米連邦公開市場委員会）において米政策金利の据え置きが決定されたものの、2023年内に追加利上げを行ない、高い金利水準の維持が示唆されたことなどから下落しました。しかしその後は、中国が財政政策強化の方針を示し、景気安定化に向けた取り組みを強化していることや、FOMCにおいて2024年末にかけての米政策金利引き下げが示唆されたことなどが好感され、上昇基調が続きました。

当ファンド（Bコース）の基準価額も2023年11月以降は堅調に推移し、2024年3月末時点では+21.1%の上昇となりました。期中は情報技術セクターが大きく上昇しましたが、組入上位10銘柄のマイクロソフトやTSMC/台湾セミコンダクターなどの銘柄もセクター平均を上回るパフォーマンスで推移し、基準価額を下支えしました。また、過去最高益を更新したリクルートホールディングスなども日経平均株価以上の上昇幅を見せました。

### 設定来のBコース（為替ヘッジなし）の基準価額推移



期間：2023年8月21日（設定日）～2024年3月29日、日次

注：上記期間において分配実績はありません。

記載の銘柄は、投資環境の説明を目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ② 当戦略のパフォーマンス

### 当戦略は良好なパフォーマンスを維持

当戦略※の算出来パフォーマンスは年率15.3%となり、世界株の同11.4%を大きく上回りました（2024年3月末時点）。

これらは、長期にわたり特定のセクターを担当する“生涯アナリスト”による情報提供によって支えられています。そして、それらを最大限に活用し、長期的に稼ぐ力があり、優れたスチュワードシップ（企業の自社とステークホルダー（利害関係者）の利益のバランスを重視し持続的成長につながる企業努力）を実践・継続できる企業を厳選することができる経験豊富なポートフォリオマネージャーによって長期的なアウトパフォームを実現させたと考えています。

※当ファンドが投資対象とする「ウエリントン・マネージメント・ファンズ（アイルランド）－ウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンド」の運用戦略

### 安定して良好なリターンが続く当戦略

当戦略と世界株の年次別リターンを見ても、2023年を除くすべての年で当戦略が世界株を上回りました。当戦略は企業の「稼ぐ力」と「スチュワードシップ」を重要視しており、グロース（成長）株運用やバリュー（割安）株運用といった特定の投資スタイルに偏らない「コア型」ファンドとして、安定して良好なリターンを実現しました。

当ページは、当戦略のコンポジット（以下コンポジットといいます。）のパフォーマンスを表しており、ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬上限である年0.65%を控除して算出しています。コンポジットは当戦略と同じチームによって運用され、同様の運用戦略を採用しており、ファンドが投資対象とする外国投資法人も含まれています。過去のコンポジットの運用実績であり、ファンドの運用実績ではありません。あくまでご参考としてご理解ください。コンポジットのベースカレンシーは米ドル（USD）、2019年1月末を起点として算出されています。

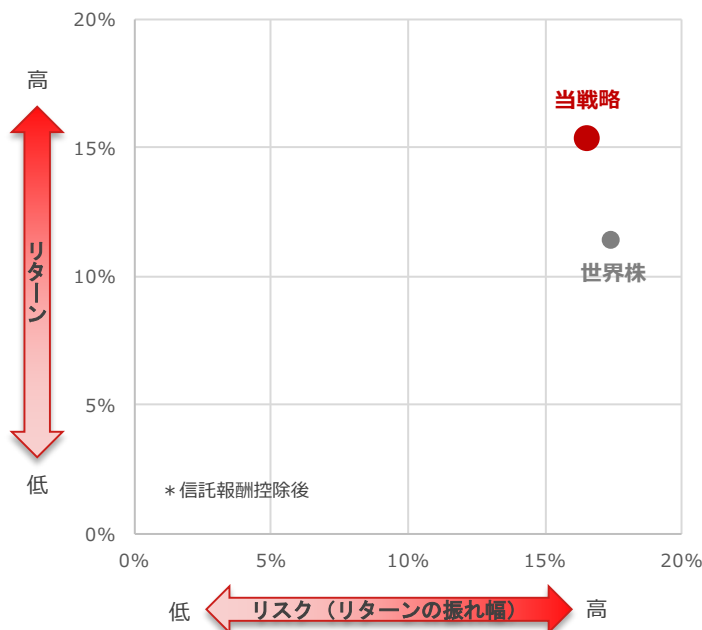
●コンポジット（Composite：合成を意味する英単語）とは、運用パフォーマンス測定のために複数のファンドを加重平均してまとめたものをいいます。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 当戦略と世界株のリスク・リターン（年率、米ドルベース）

	リターン	リスク	投資効率
当戦略	15.3%	16.5%	0.93
世界株	11.4%	17.5%	0.65

投資効率は「リターン÷リスク」にて算出

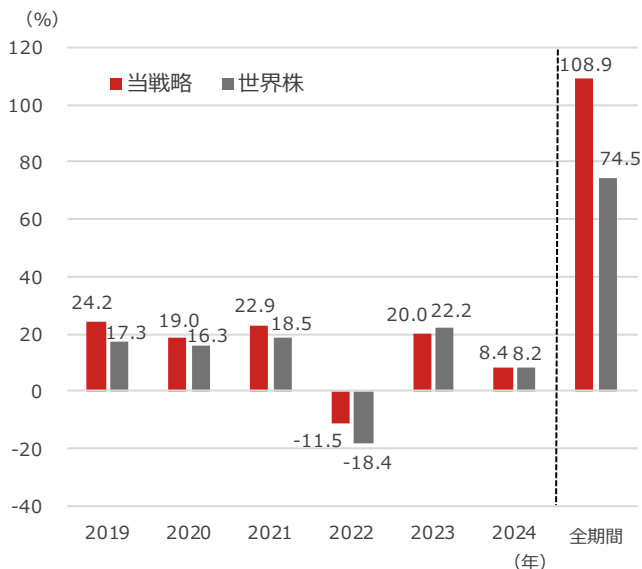


期間：2019年1月末～2024年3月末、月次

世界株：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）  
リスクは月次リターンの標準偏差を年率換算しています。標準偏差とは、平均的な収益率からどの程度値動きが乖離するか、値動きの振れ幅を示す数値です。リターンは年率換算しています。投資効率は単純なリターンの大小ではなく、そのリターンを得るためにどの程度のリスクをとっているかを計測し、数値が高いほど投資効率が高いことを示しています。

（出所）ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの情報、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

### 当戦略と世界株の年次別リターン（米ドルベース）



期間：2019年～2024年、年次

世界株：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）  
2019年は2～12月、2024年は1～3月、全期間は2019年2月～2024年3月のリターン  
（出所）ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの情報、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

### ③ 当戦略の運用哲学

#### 当戦略の運用哲学

当戦略の運用哲学は以下3点になります。

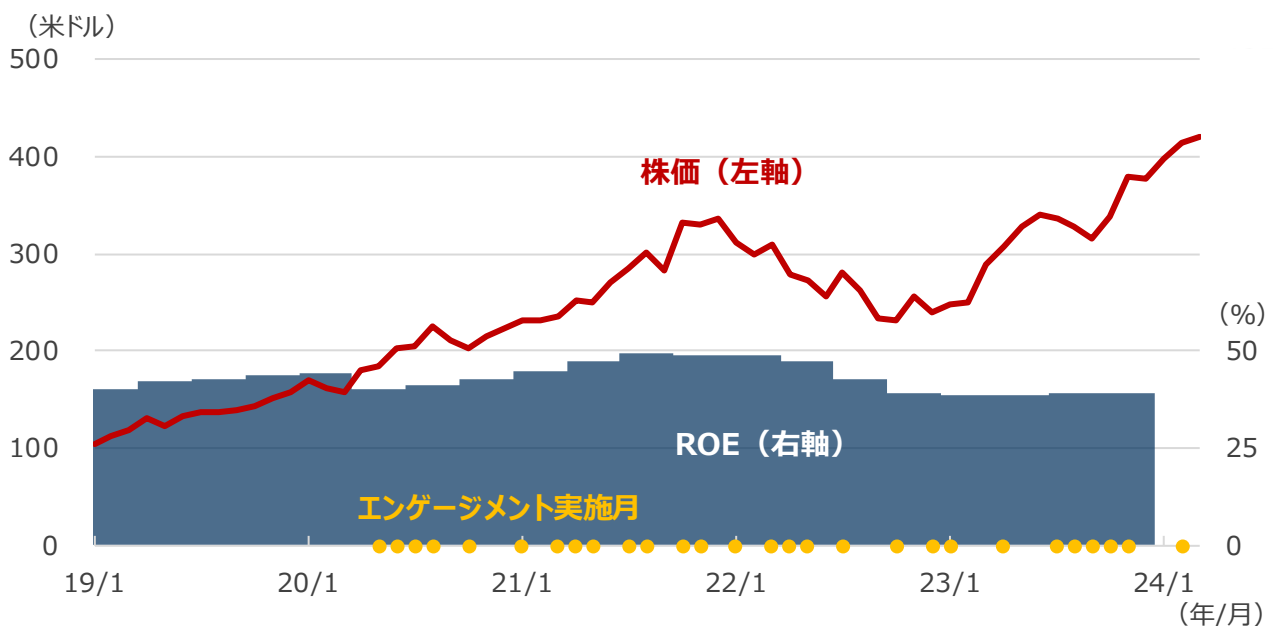
- ① 企業の稼ぐ力を表すROE（自己資本利益率）およびスチュワードシップを重視すること
- ② 企業とのエンゲージメント（継続的かつ強固な対話）および議決権行使などのアクティブオーナーシップによって企業行動を改善させ、ステークホルダーへの価値を創造すること
- ③ スチュワードシップおよびエンゲージメントの効果は、長期的な関与によって拡大すること

上記哲学を重視しつつ、経験豊かなポートフォリオマネージャー3名が銘柄を厳選しており、これらはまた“生涯アナリスト”体制を敷く同社の強力な調査体制が支えています。いわゆるインデックスファンドでは実現しえない運用体制を駆使しつつ超過収益を追求することが、長期的な安定したパフォーマンスに繋がっています。

#### 銘柄の厳選例：マイクロソフト

マイクロソフトは米国の大手ソフトウェア企業です。ここでは組み入れに至った背景およびエンゲージメントの詳細を説明します。当ファンドでは銘柄を選択する際には、「長期的に保有できるか否か」を重要視します。稼ぐ力の観点では、同社はソフトウェアビジネスからクラウドビジネスへの領域拡大によって安定的な利益成長を実現し、直近では最先端のAI（人工知能）投資においても成果を出しました。また、スチュワードシップの観点からは、多様性・一体性への取り組みに努めており、優れた人材の確保と維持に努めている点を評価し、組み入れに至りました。さらに、エンゲージメントではハラスメント疑惑対応として対策の有効性に関する報告書の作成を依頼し、その後同社からハラスメントの告発に関するデータの社外への開示同意を得ることができました。これはエンゲージメントを通じて企業価値を高めることに繋がった好事例と言えます。

#### マイクロソフトの株価とROEの推移



期間：（株価）2019年1月末～2024年3月末、月次（ROE）2019年3月～2023年12月、四半期

ROEは各決算期末における過去1年の値を使用

（出所）ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの情報、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

## (ご参考) ウェリントンの特長

### 知 っとこ！

ウェリントンは世界最大級の投信サブ・アドバイザー（外部委託の資産運用会社）であり、資産運用会社でトップクラスの認知度※を持ちます。同社の強みは、主に「**モーニングミーティング**」と「**生涯アナリスト**」の2点が挙げられます。

※eVestmentの調査（2023年9月）による。

#### **モーニングミーティング**

ウェリントンの運用における強みの1つが、過去60年以上にわたり続くモーニング・ミーティングでの活発なアイデアの交換です。**毎朝30分間、世界中の拠点に点在する運用プロフェッショナルが一堂に会し、それぞれの投資アイデアを討議することで、運用パフォーマンスの向上に役立っています。**

#### **生涯アナリスト**

生涯アナリストの存在も同社の強みの1つです。ウェリントンにはグローバル産業リサーチと呼ばれる調査のスペシャリスト集団が在籍しており（2024年3月末時点で52名）、当戦略に限らず多くの運用戦略の基盤となっています。アナリストはキャリアの途中でポートフォリオ・マネージャーになるのが一般的ですが、**ウェリントンのアナリストは生涯にわたり特定のセクターを担当することに特徴があり、他社と差別化されています。**

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ファンドの運用状況

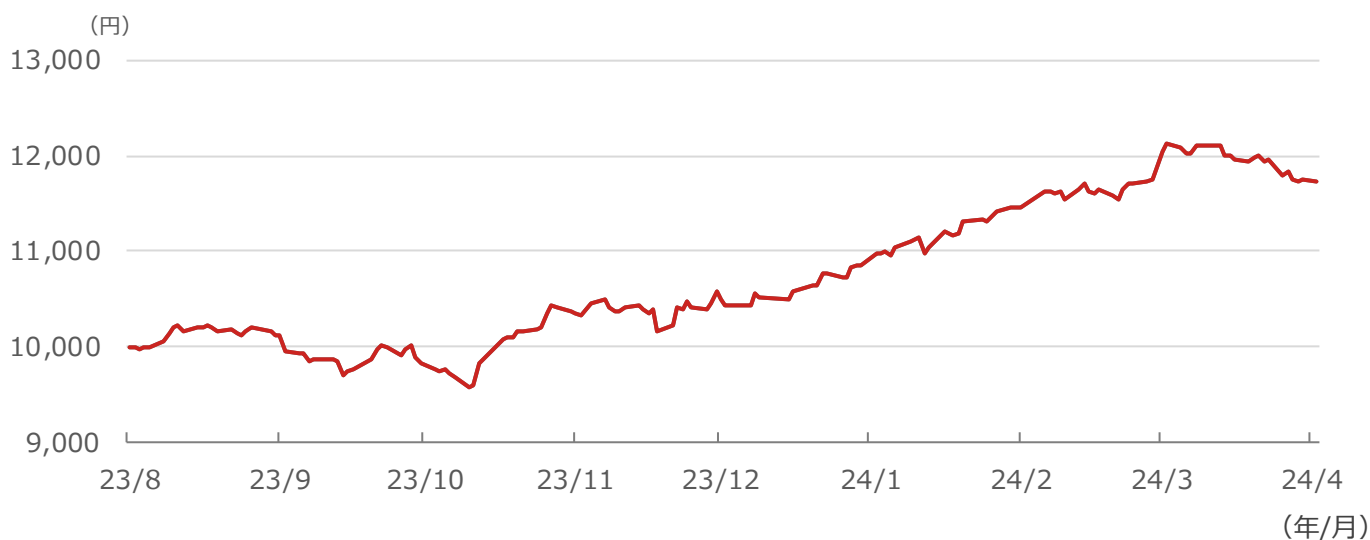
### 基準価額の推移

期間：2023年8月21日（設定日）～2024年4月22日、日次

Aコース（米ドル売り円買い）



Bコース（為替ヘッジなし）



上記期間において分配金実績はありません。

#### 当資料で使用した指数について

● MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み）はMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 「ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド」Aコース（米ドル売り円買い）／Bコース（為替ヘッジなし）

ファンドは、ESG<sup>※</sup>を投資対象選定の主要な要素としており、「ファンドの特色」にその詳細を記載しています。

※ ESGとはEnvironment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

### 【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 新興国を含む世界各国の企業の株式を実質的な主要投資対象<sup>※</sup>とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは投資する外国投資法人において、米ドル売り円買いの為替取引を行なう「Aコース」と対円での為替ヘッジを行なわない「Bコース」から構成されています。
- 各々以下の外国投資法人である「ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
Aコース (米ドル売り円買い <sup>※</sup> )	ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンドークラスS(円ヘッジ有、分配金無)
Bコース (為替ヘッジなし)	ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンドークラスS(円ヘッジ無、分配金無)

※Aコースにおける「米ドル売り円買い」とは、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことをいいます。

- 通常の状態においては、「ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンド」への投資を中心とします<sup>※</sup>が、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の状態においては、「ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

#### ■ファンドの組入銘柄■

ファンドが投資対象とする「ウエリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウエリントン・グローバル・スチュワード・ファンド」は、ESG特性を重視して選定された銘柄に純資産総額の90%以上投資を行ないます。

\* 投資対象銘柄のESG特性を考慮してポートフォリオ構築を行なう際の制約要因やリスクについては、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご参照ください。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

#### ■投資対象とする外国投資法人におけるサステナブル投資■

投資対象とする外国投資法人では、持続可能な社会に向けて以下の目標を掲げています。

・経営陣や取締役がスチュワードシップへの優れた取り組みを見せる企業の株式に投資を行ないます。

・パリ協定に基づき投資先企業において2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ(ネットゼロ)とすることを促します。

上記の目標に沿って設けられた社会や環境に関するスチュワードシップ基準について、一定の水準を満たす企業に投資を行ない、その投資比率は純資産総額の90%以上を維持することを基本とします。

#### ■スチュワードシップ方針について■

投資対象とする外国投資法人では、ポートフォリオ構築プロセスにおいて、議決権行使やエンゲージメント(対話)を通じて得た知見などを活用して投資対象銘柄を決定します。

ウエリントン・マネージメント・グループは、議決権行使やエンゲージメント(対話)を通じて、投資先企業の持続可能な成長を促します。

ウエリントン・マネージメント・グループのスチュワードシップ方針の詳細は、以下のサイト(「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」)内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針」にある「ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド」の「スチュワードシップの方針はこちら」より、ウエリントン・マネージメント・グループのサイト(英語)にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/strategy/esglineup.html#esglineup4>

- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。

(販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。)

- 原則、毎年6月および12月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### ◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

# 「ウェリントン・企業価値共創世界株ファンド」Aコース（米ドル売り円買い）／Bコース（為替ヘッジなし）

## 【投資リスク】

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、ESG投資に関するリスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

### 【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(2023年8月21日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、6月および12月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかに該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
  - ・ニューヨークの銀行の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日
  - ・復活祭(イースター)直後の月曜日(イースターマンデー) ・メーデー(5月1日)
  - ・クリスマスデイ(12月25日)の直前および直後のニューヨーク証券取引所の営業日
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。「Bコース」は、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。「Aコース」は、NISAの対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### 【当ファンドに係る費用】

(2024年4月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.012%(税抜年0.92%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 <sup>(注)</sup> 年1.662%程度(税込) (2024年3月8日現在 年1.512%程度(税込)) (注)ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入有望証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、 ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	ありません

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

**NOMURA**  
野村證券

お申込みは

商号：野村證券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／  
一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

**NOMURA**  
野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



#### 【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

#### 【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。